

令和5年8月7日～8月13日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第15報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

8月7日～8月13日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、7日、10日は「**嚴重警戒**」を示す28以上31未満となり、8、9日及び11日以降は「**危険**」を示す31以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、10日を除き暑さ指数(WBGT)は高くなり、13日は2近く高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、全都市で「**嚴重警戒**」を示す28以上になる日があり、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、高知、福岡、鹿児島、那覇では「**危険**」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。

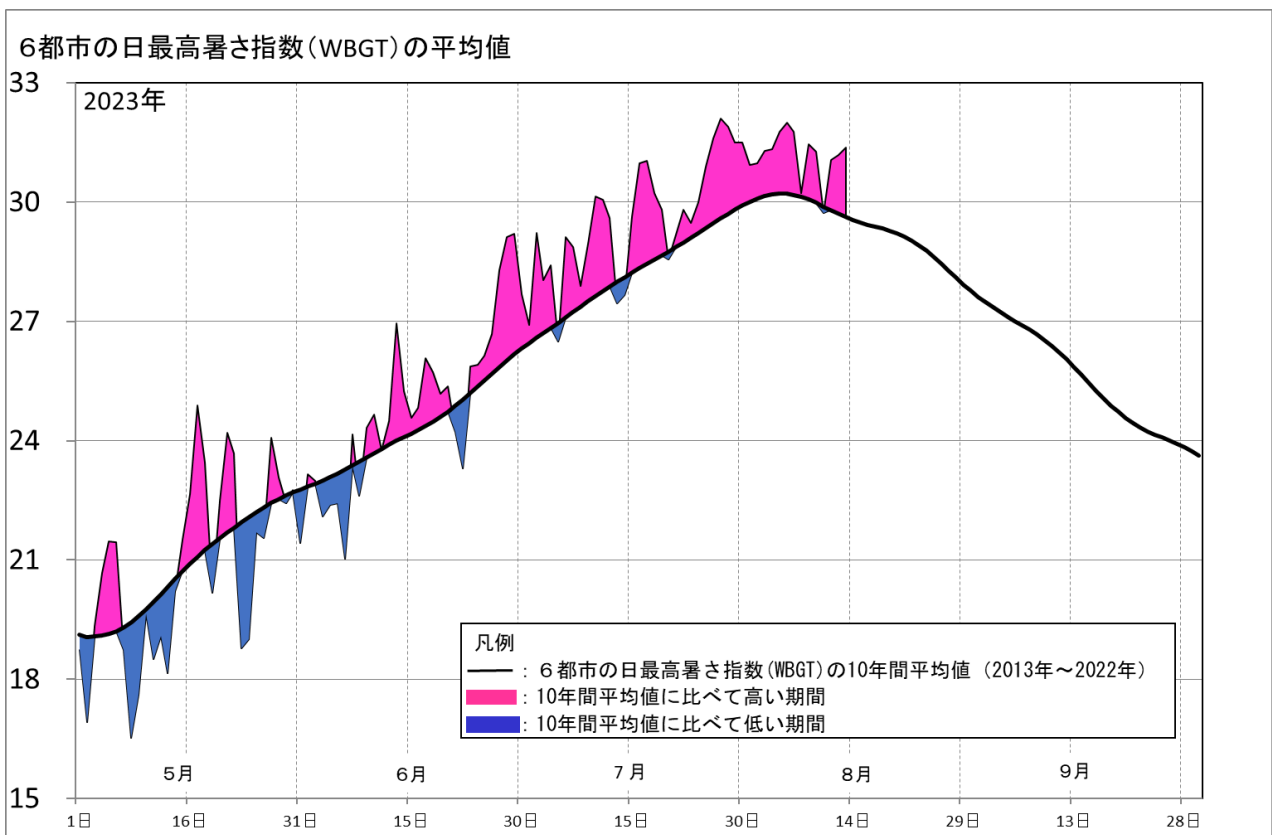


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(8月7日～8月13日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
7	24.8	30.1	32.1	31.8	29.9	28.4	27.2	28.4	31.9	29.6	27.9	30.2
8	26.2	29.8	31.6	32.7	32.1	31.5	30.2	31.3	30.6	28.9	30.6	31.5
9	30.4	30.5	32.3	33.5	31.9	31.0	29.6	30.4	29.3	27.1	30.9	31.3
10	29.9	30.9	29.5	32.1	30.6	30.9	26.9	29.8	28.3	30.1	32.1	29.7
11	29.5	29.4	30.3	30.6	31.4	31.7	30.7	31.3	31.6	31.7	31.0	31.1
12	29.5	27.4	30.8	32.4	31.6	32.0	29.2	31.2	31.1	31.3	30.7	31.2
13	28.6	31.3	31.4	30.9	32.5	32.5	30.7	31.1	30.2	31.2	31.1	31.4

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の8月7日～8月13日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	1	14	10	15	9	0	4	5	7	5
28以上	27	44	73	61	73	53	30	49	44	46	50
25以上	62	124	145	163	145	152	137	155	155	165	168

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

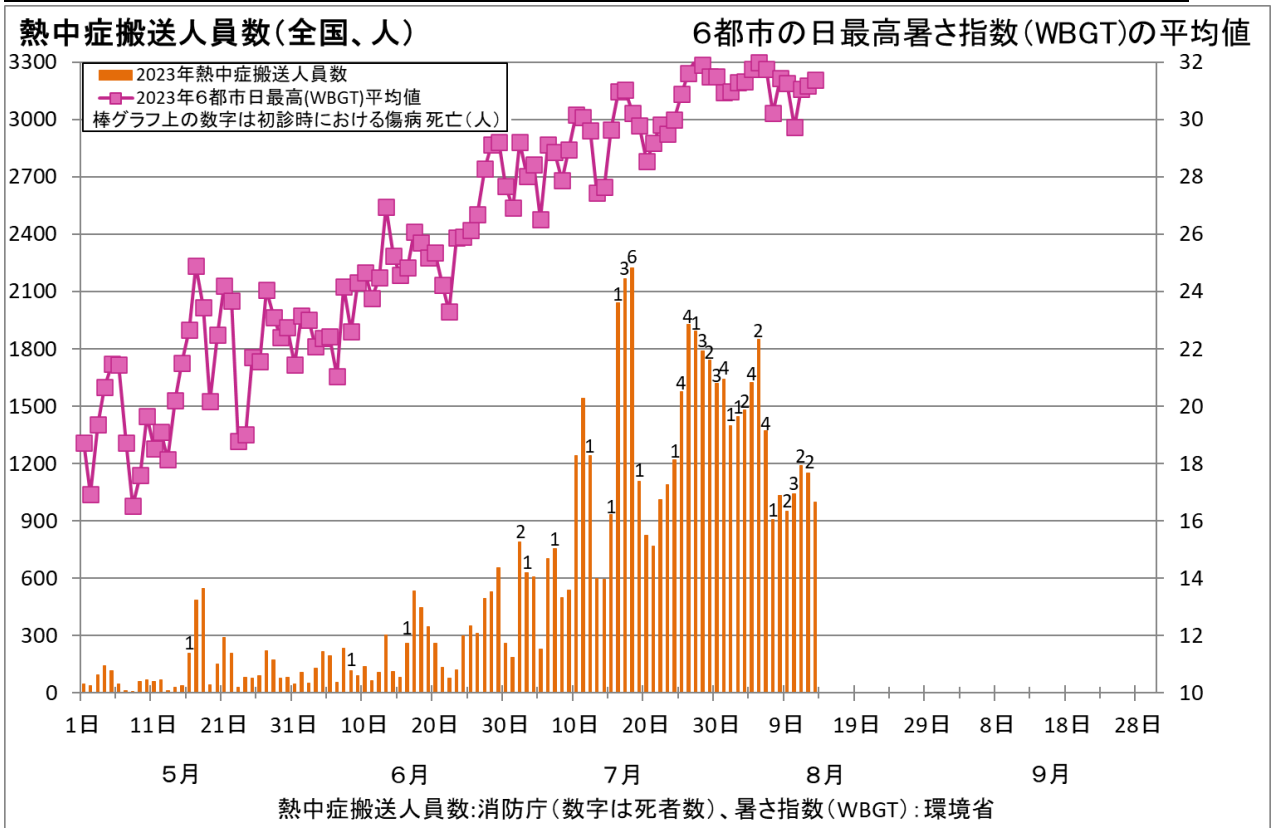


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と全国の熱中症搬送人員数の推移

消防庁発表の8月7日～8月13日の速報によると、熱中症による全国の救急搬送人員数は、多い日が11日の1,189人、12日の1,149人で、総数は7,266人(死者10名含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

8月7日～8月13日の間、熱中症警戒アラートの発表状況は以下のようになっております。（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（8月7日～8月13日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0.1	2.7	1.9	4	6.5	5
のべ回数	1	16	17	16	26	30
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	4.8	4.5	3.3	1.7	1	
のべ回数	19	18	20	5	4	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通し（8/16 14:30時点）

8月18日までの予測期間において、北海道地方を除き「危険」を示す暑さ指数31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（8月16日発表、8月17日～8月28日）によると、「北日本、関東甲信地方、北陸地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため、かなり高い日が続く所が多いでしょう。農作物の管理等に注意してください。また、熱中症の危険性が高くなりますので、健康管理に注意してください。

東海地方と西日本の向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高い日が多く、かなり高い所も多いでしょう。農作物の管理等に注意してください。また、熱中症の危険性が高くなりますので、健康管理に注意してください。

奄美地方の向こう2週間の気温は、海面水温が低い影響により平年並か低く、かなり低い日もあるでしょう。年間で最も気温の高い時期にあたるため、熱中症対策など健康管理に注意してください。

沖縄地方の気温は、20日頃までは高く、その後は平年並でしょう。年間で最も気温の高い時期にあたるため、熱中症対策など健康管理に注意してください。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

